

令和3年度事業報告

● 基本方針

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国、北海道における感染拡大防止策を取るため、一部事業の縮小、延期や見送りを余儀なくされた。

「アイヌ施策推進法」並びに「北海道アイヌ政策推進方策」による総合的なアイヌ政策が推進されるよう働きかけるとともに、とりわけアイヌの生活向上とエカシ・フチに対する支援策を国に要請した。

3年目となるアイヌ施策推進法に基づく交付金事業については、道内31自治体、道外1自治体において展開され、当会としても道内自治体を訪問し、積極的な活用を促した。

「民族共生象徴空間ウポポイ」の開業から1年を迎え、協会事業とも連携し、普及啓発を行った。

法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はもとより、地区協会本会員との連携を深めつつ、アイヌ民族自らの活動展開と国民理解により得られる協賛により法人運営の健全強化に努めた。

昨年3月に放送された日本テレビ情報番組「スッキリ」におけるアイヌ民族に対する不適切発言については、昨年6月の総会の場で小杉代表取締役社長執行役員から番組制作に係る経緯や原因の究明についての説明と謝罪があった。当会としては、再発防止策に基づく検証番組やアイヌ民族の理解促進につながる番組制作に協力した。

1. アイヌ施策推進法の法制理解と利活用
2. 生活向上施策及び文化振興施策の見直しと充実
3. 新法制定を踏まえた組織強化への取組
4. 新法制度の全国展開を見据えた道外アイヌの認定等

< 2つの項目 >

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

1 組織・活動強化の推進

1 要請活動等の展開

アイヌ施策推進法の施行後も先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していくため、国政や関係行政機関に対し働きかけを行った。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進め、人権啓発活動等に取り組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等の情報入手に努めた。

(1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

また、アイヌ民族文化財団助成事業の謝金単価の見直しを要請し増額が実現した。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌに対する理解促進や150年間何も変わっていない厳しいアイヌの生活に対し、生活の向上や子弟の教育の充実をお願いした。

特に、貧困と差別の中で悲しい思いをされてきたエカシ・フチが、この国に生まれて良かったと思える政策の結果を出していただくよう要請した。

○政府等

- ・菅前総理大臣との面談 令和3年10月12日（東京）
- ・加藤前官房長官との面談 //
- ・岸田総理大臣との面談 令和3年11月24日（東京）
- ・松野官房長官との面談 //

○政党等

- ・鈴木宗男参議院議員 令和3年 6月13日（札幌）
- ・山岡達丸衆議院議員 令和4年 3月12日（苫小牧）
- ・アイヌ政策と推進する議員の
会への挨拶回り（衆参43名） 令和3年12月16日（東京）

○アイヌ政策推進会議 令和3年6月10日（リモート会議）

○内閣官房アイヌ総合政策室との打合せ

- ・内閣官房との会議 令和3年 6月25日（リモート）
令和3年 7月 7日（リモート）
- ・岡本直行室長との面談 令和3年 8月 5日
- ・北海道分室との打合せ 令和3年10月 6日

(3) 北海道への対応

- ・小玉副知事との面談 令和3年12月24日
- ・佐藤アイヌ政策監との面談 令和3年12月24日

(4) 民族共生象徴空間の施策推進に対する働きかけ

①民族共生象徴空間ウポポイの認知度の向上

ウポポイの啓発パンフレット等広報資材を、公共施設や商業施設の利用者に配付したほか、公共施設等に配架、留置きをお願いし、ウポポイに対する国民理解、認知度の向上に努めた。

(5) 遺骨・慰霊について

①北海道大学に対する要請

アイヌ遺骨等の国立慰霊施設移転に伴う慰霊費用の等の永続対応について、新たに就任した寶金清博総長に要請書を提出した。

- ・令和3年7月21日 国立大学法人北海道大学総長 寶金清博
北海道アイヌ協会 大川理事長、中村副理事長、加藤常務理事

- ②アイヌ遺骨及び副葬品（12大学保管分）の慰霊施設集約後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパ
- ・令和3年10月17日（日）ウポポイ慰霊施設（白老町）
慰霊施設にアイヌ遺骨が集約された後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため参列者を制限し、大学関係者やアイヌ協会役員、地区協会長のみの参列をいただいた。
- ③北海道博物館におけるイチャルパへの協力（主催者：北海道博物館）
令和3年度の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施が見送られた。
- ④研究倫理検討委員会準備会
- アイヌ民族に関する研究倫理指針「研究倫理委員会」準備委員会
 - ・日時 令和3年3月8日（リモート会議）
- (6) 農林漁業対策の推進
農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。
- (7) 住宅対策の推進
住宅の改善促進に努めた。
- (8) 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ
- ① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力をするとともに、イランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。
 - ② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集に努めた。
 - ③ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について
「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点から王子製紙と日本製紙、千歳林業、新秋木工業が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。
また、林野庁北海道森林管理局が森林計画樹立のため、地域のアイヌ関連団体関係者に意見・要望を聴取するための地元意見交換会を開催するに際して、対象地区協会に事前の趣旨説明、情報提供をするなどの調整を行った。（令和3年度は書面開催）
- (9) 自主的啓発活動の推進
平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。
あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。
- (10) ホームページの充実
当法人のホームページによりアイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。
また、新規会員募集についての情報提供を行った。
(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

- (11) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力
全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。
- (12) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ
総合的なアイヌ政策を推進していくため、関東域の関係団体・個人と連絡を密に情報を共有を行った。
また、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化発信プログラムの企画検討に関東域の関係団体とも連携した。
- (13) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携
同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。
- (14) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。
- (15) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究
令和4年度から使用する高校教科書等の記述について情報収集に努めた。
また、内閣官房が主催する「アイヌに関する教科書編集セミナー」（令和3年11月12日）に対応した。
- (16) 教育相談員の配置等
既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。
- (17) 図書・刊行物等の過誤対応
アイヌ民族の歴史や文化に関する刊行物（観光資料）の記述について、（公社）北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化分科会」など関係機関とも連携、協力し正確な知識の普及に努めた。

2 組織の強化

(1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事を教訓に二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、地区協会事業等への参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ協会役員が出向いた。

会員研修会については実施を見送った。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

※各地区事業は、コロナ対策が講じられた。

| 期 | 日 | 行 事 名 | 出席役・職員 |
|------|----------|---------------------|--------|
| 令和3年 | 4月15日(木) | 弟子屈アイヌ協会総会 | |
| | 4月18日(日) | 三石アイヌ協会総会 | |
| | 4月18日(日) | 白糠アイヌ協会総会 | |
| | 4月21日(水) | 釧路アイヌ協会総会 | |
| | 4月23日(金) | 阿寒アイヌ協会総会 | |
| | 4月24日(土) | 白老アイヌ協会総会 | |
| | 4月25日(日) | 平取アイヌ協会総会 | |
| | 4月25日(日) | 苫小牧アイヌ協会総会 | |
| | 4月25日(日) | 新ひだかアイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 4月 | 浦河アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 4月 | 新冠アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 4月 | 様似アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 4月 | えりもアイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 4月 | 標津アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 4月 | 洞爺湖アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 5月1日(土) | ホップアイヌ協会(浦幌アイヌ協会)総会 | |
| | 5月 4日(火) | 芽室アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 5月 8日(土) | 第9回シベチャリ武四郎まつり | |
| | 5月21日(金) | 本別アイヌ協会総会 | |
| | 5月31日 | 厚真アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 5月 | 伊達アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 5月 | 登別アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| | 5月 | 室蘭アイヌ協会総会 | 書面表決 |

| 期 日 | 行 事 名 | 出席役・職員 |
|------------|--------------------|----------|
| 5月 | むかわ室蘭アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| 5月 | 日高地区アイヌ協会連合会総会 | 書面表決 |
| 6月13日(日) | 新ひだか 第33回イチャルパ | |
| 6月20日(日) | 豊浦カムイノミ、祈願祭 | 理事長、常務理事 |
| 6月 | 日高アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| 6月 | 札幌アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| 7月24日(土) | 豊浦 カムイノミ・イチャルパ | 理事長、副理事長 |
| 8月 1日(日) | 弟子屈 第5回パリモモ祭り | 理事長 |
| 8月 1日(日) | 帯広 アイヌ共同納骨堂慰霊祭 | 小川哲也理事 |
| 8月22日(日) | 洞爺湖 ウトゥラノ竣工チセノミ | 理事長 |
| 8月22日(日) | 浦幌 カムイノミ・イチャルパ | |
| 8月29日(日) | 阿寒 阿寒町納骨堂イチャルパ | |
| 9月19日(日) | 浦幌 第3回アシリチェプノミ | |
| 9月23日(木・祝) | 第75回シャクシャイン法要祭 | ※中止 |
| 9月29日(水) | 釧路 第40回カムイチェップ祭 | |
| 10月 3日(日) | 第26回屈斜路コタンイチャルパ | |
| 10月 4日(日) | 三石 第28回イチャルパ | |
| 10月31日(日) | 十勝 第4回十勝川アシリチェップノミ | |
| 11月 7日(日) | 帯広 チョマトー祭り | 理事長 |
| 令和4年1月 | 長万部アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| 2月 | 八雲アイヌ協会総会 | 書面表決 |
| 3月27日(日) | 帯広アイヌ協会総会 | 理事長 |

(2) アイヌ施策推進法によるアイヌ施策の推進

アイヌ施策推進法に基づく施策の推進に国民理解を深めていただくため、国民を代表する国会議員にご理解とご協力をお願いした。

(3) 会員研修事業

「会員研修会」

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先と考え、開催を中止した。

(4) 地区別懇談会

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先と考え、開催を中止した。

- (5) 青年女性対策の推進
「青年・女性の集い」
新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。
- (6) 各種相談員の合同研修会
新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。
- (7) 連帯意識の高揚
各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。
- (8) 生活館活動
各地区独自の活動実施にとどまった。
- (9) 市町村への働きかけ
アイヌ施策推進法に基づく新しい交付金事業について情報共有と連携を図った。
また、市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう協会三役が関係市町を訪問し働きかけを行った。
- ・ 令和3年 4月16日 八雲町長
 - 11月10日 "
 - ・ 令和3年12月 3日 日高町長
 - ・ 令和4年 3月23日 伊達市長
- (10) 財政基盤の強化
会費収入は減少傾向（本会員の減）にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

3 会務の運営

- (1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催
総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

<理事会>

| 回 | 数 | 開 催 日 | 場 所 |
|-------|---|---------------|-------------------------------|
| 第 1 回 | | 令和3年 4月28日（水） | 苫 小 牧 市 |
| 第 2 回 | | 令和3年12月15日（水） | 札 幌 市 |
| 第 3 回 | | 令和4年 1月28日 | ※新型コロナウイルス感染症関連対応のため、 書面表決 |
| 第 4 回 | | 令和4年 3月30日 | 札 幌 市 |

<役員研修・連携会議>

| 回 | 数 | 開 催 日 | 場 所 |
|-------|---|----------------|---------|
| 第 1 回 | | 令和3年 4月27日(火) | 苫 小 牧 市 |
| 第 2 回 | | 令和3年 12月14日(火) | 札 幌 市 |
| 第 3 回 | | 令和4年 3月30日(水) | 札 幌 市 |

(2) 監事監査の実施

当会の財務規程では年2回以上行うこととされているが、新型コロナウイルス蔓延防止等特別措置の適用などにより、年1回の監査となった。

令和3年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・監事会計監査 : 令和4年4月23日(土)
- ・公認会計士監査 : 令和4年4月23日(土)

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年2回(B5版p.8)各4,300部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

② ホームページによる情報発信

当協会ホームページにより、先住民族アイヌの情報(組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等)を発信した。

③ 「2021年 国際先住民族の日記念事業」

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。

④ アイヌ文化発信プログラム事業

2021年8月に実施した「東京2020オリンピック・パラリンピック」における札幌競技(マラソン・競歩)会場のスタート地点に接した大通公園テレビ塔下の会場で、アイヌ舞踊を5回(4日間)総勢190名による公演を行った。

新型コロナの影響を受け、本州域のウタリの出演が叶わなかったが、国内外の放送局から世界に映像を発信することができた。

(2) 各種貸付金の貸付

福祉(緊急用途支援)、環境整備(浴室、墓碑整備)、入学一時(大学、私立高校、専修学校)を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、用途に応じて各種貸付を行った。

①福祉資金

- ・貸付限度額10万円以内 24件（2,400,000円）の活用があった。

②環境整備資金 貸付申請なし

○浴室整備資金

- ・貸付限度額20万円以内 0件（0円）

○基礎整備資金

- ・貸付限度額30万円以内 0件（0円）

③入学一時資金 貸付申請なし

○大学入学一時資金

- ・貸付限度額30万円以内 0件（0円）

○私立高校一時資金

- ・貸付限度額20万円以内 0件（0円）

○専修学校一時資金

- ・貸付限度額30万円以内 0件（0円）

(3) 職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

- ・就職支度資金23,760円 0件 申請なし
- ・技術習得資金50,000円以内 14件（700,000円）の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

- ・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。
延べ348日間の活動で386件の相談を受理、64件の就職・求人に結びつけた。

令和3年度活動実績は次のとおり。

| 項目 | | 月 別 | | | | | | | | | | | | 計 |
|-----------------------------------|------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 1. 活動日数 | | 29 | 30 | 27 | 30 | 28 | 24 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 348 |
| 2. 相談 件数 | 1) 求職者相談件数 | 35 | 34 | 31 | 34 | 30 | 26 | 31 | 35 | 32 | 32 | 32 | 34 | 386 |
| | 有効求職者 | 27 | 23 | 21 | 23 | 21 | 20 | 21 | 27 | 21 | 24 | 24 | 25 | 277 |
| | 新規学卒者 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | その他 | 7 | 11 | 10 | 11 | 9 | 6 | 10 | 8 | 11 | 8 | 8 | 8 | 107 |
| | 2) 事業所相談件数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| | 一般求人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 新規学卒者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 3. 安定所に取 次いだ件数 | 求職取次 | 5 | 5 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 6 | 4 | 4 | 57 |
| | 求人取次 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 4. 職場適応指導件数 | | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 0 | 3 | 4 | 3 | 1 | 26 |
| 5. 安定所に取次いだ求人情報のうち求人受理件数 (求人数) | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 6. 就職に至った件数 | | 6 | 7 | 5 | 2 | 5 | 8 | 5 | 6 | 4 | 6 | 2 | 8 | 64 |

③アイヌ中小企業経営改善指導事業

アイヌ事業者の事業活動の促進と経営安定化を図るため、指導事業を実施した。

④アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

| 開催地 | 場 所 | 期 間 | 体験講師／実演者 |
|-----|------------------------|-------------------------------------|---|
| 千歳市 | 新千歳空港 ターミナルビル 2階 | 令和3年 10月28日(木) ～ 11月 1日(月) | 体験講師 貝澤竹子 実演者 荒木 繁、宮川正子 吉田信男、山田祐治 |
| | 新千歳空港 ターミナルビル 2階 | 令和4年 2月10日(木) ～14日(月) | 体験講師 宮川正子、長縄由加利 実演者 貝澤竹子、石井美香 阿部紘美、吉田信男 |
| | 新千歳空港 ターミナルビル 2階 | 令和4年 3月 3日(木) ～ 7日(月) | 体験講師 石井美香、阿部紘美 実演者 荒木 繁、貝澤竹子 長縄由加利、山田祐治 |
| 白老町 | 白老駅北観光 商業ゾーン | 令和3年 10月23日(土) ～24日(日) | 体験講師 荒木 繁、石井美香 山内久美子 実演者 吉田信男 |
| 東京都 | ギャラリー モーツァルト | 令和4年 1月17日(月) ～22日(土) | 実演者 荒木 繁 |

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

<道外研修>

国立民族学博物館（大阪府吹田市）
参加申込みがなく、本年度の実施を見送った。

<道内研修>

①道内調査研究

国立アイヌ民族博物館において、収蔵資料を熟覧調査した。
・研修期間：令和3年12月～3月（計5回）
・参加者：竹内明美（札幌）
・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

②道内技術研修

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。
・研修期間：令和4年1月～3月（計6回）

- ・ 講 師：①技術指導（刺しゅう）優秀工芸師 宮田初枝
②経営セミナー 中小企業診断士 佐々木伸
- ・ 参 加 者：西山美紀子（標津）／西山知花（阿寒）／内山藤子（白糠）／結城志穂（札幌）
- ・ 報 告 会：研修終了後、研修報告会を実施した。

（４）民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①北海道アイヌ伝統工芸展の開催

- ・ 期 間 令和4年2月4日（金）～8日（火）
 - ・ 場 所 かでる2・7 1階展示ホール
 - ・ 参加地区数 9地区協会（29人）
 - ・ 出品数及び 伝統工芸品部門 28点 一般工芸品部門 42点 計70点
 - ・ 審査委員 元道立近代美術館学芸部長 浅川 泰
北海道立総合研究機構工業試験場研注幹 万城目 聡
北海道博物館学芸主査 大坂 拓
北海道アイヌ協会優秀工芸師 宮田 初枝
北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝澤 徹
- （敬称略）
- ・ 受賞者一覧

| | 伝 統 工 芸 品 部 門 | | | 一 般 工 芸 品 部 門 | | |
|--------------|---------------------|-----|-------|-------------------------|-----|-------|
| | 作品名 | 地区名 | 氏 名 | 作品名 | 地区名 | 氏 名 |
| 最優秀賞 （※1） | ポンサラニフ [°] | 浦 河 | 堀 悦子 | キムンカムイ 恵みに感謝 | 白 老 | 山田 祐治 |
| 優秀賞 （※2） | | | | バッグ | 札 幌 | 斎藤 芳子 |
| 優秀賞 （※3） | ルウンペ | 八 雲 | 溝口 正枝 | | | |
| 優秀賞 （※4） | カパラミフ [°] | 八 雲 | 新谷 弘子 | タペストリー | 八 雲 | 中田れい子 |
| 奨励賞 | トマ | 平 取 | 二谷 文子 | チヂリのれん | 札 幌 | 長縄由加利 |
| 同 | 子供用着物 | 浦 河 | 小倉 直美 | デニム生地 スマートフォン ケース | 白 老 | 平田 早苗 |
| 同 | チカルカルペ | 標 津 | 西山美紀子 | ルウンペはんて ん | 八 雲 | 新谷 弘子 |
| 同 | スオンキ | 札 幌 | 竹内 明美 | タペストリー | 札 幌 | 石井 彩花 |
| 同 | イタ | 札 幌 | 居橋 朗 | タペストリー | 札 幌 | 小倉 直美 |
| 同 | マタンプシ | 標 津 | 西山 知花 | ニマ | 帯 広 | 吉根 憲一 |

※1 最優秀賞（北海道知事）

※2 優秀賞（北海道議会議長）

※3 優秀賞（北海道教育委員会教育長）

※4 優秀賞（かでる賞）

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場(札幌/白老/むかわ/帯広/釧路)
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場(札幌/白老/むかわ/帯広/釧路)
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示
令和4年2月26日（土）、札幌市「かでの2・7」にて実施

③アイヌ民族文化祭2021

民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2021」を開催した。

◆開催日時：令和3年10月23日（土） 13:00～16:45

◆開催場所：長万部町学習文化センター

◆入場者数：110人（関係者、出演者等を含む）

◆内 容：

- | | | |
|------|-----------|-------|
| 主催挨拶 | 理事長 | 大川 勝 |
| 来賓挨拶 | 長万部町長 | 木幡 正志 |
| 来賓挨拶 | 北海道アイヌ政策監 | 佐藤 則子 |
- 講演Ⅰ
- ・講師 篠田 謙一（国立科学博物館 館長）
「自然人類学研究が明らかにしたアイヌ民族の成り立ち」
- 文化公演 アイヌ古式舞踊
- ・白糠アイヌ文化保存会
- 講演Ⅱ（座談会）
- ・講師 大坂 拓（北海道博物館 学芸主査）
 - ・講師 大矢 京右（函館市教育委員会生涯学習部文化財課 主任）
「渡島半島におけるアイヌ民族の歴史と文化」
- フィナーレ ポロリムセ（輪踊り）
- ・白糠アイヌ文化保存会
 - ・長万部アイヌ協会

④ウポポイ園内アイヌ舞踊等披露発信事業

各保存会に地域で伝承してきた古式舞踊をウポポイの体験交流ホールで披露していただきアイヌ文化の発信と理解促進を目的に実施した。

- ・参加団体 6保存会
- ・実施時期等 コロナの影響により 7月から1月 10回
(1回土日の2日間。1日2公演。1公演30分)
- ・観客数 総観客数4,114人（1公演当たり約103人）

⑤ウポポイ運営モニター事業

各地区協会や保存会等アイヌ関係団体会員等にモニターになっていただき、博物館等ウポポイの各施設群やそで実施されている体験プログラム等を観覧していただき、アイヌ民族の目線から、感想や意見、要望等をアンケート方式で出していただき、ウポポイのよりよい運営に資することを目的に実施した。

- ・調査期間 12月から3月
- ・参加団体等 コロナの影響により5団体64名

(5) 諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：令和3年7月30日（金）13:00～15:00
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：55人

「札幌医大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：令和3年10月6日（水）13:30～15:20
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：40人

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先と考え、開催を中止した。

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：令和4年2月4日（金）～7日（月）
- ・場 所：かでの2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 4人

(6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

令和3年度アイヌ総合センター学習事業実績

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、定員を縮小した。

| 講習名 | 日程 | 講師名 | 延べ人数 |
|-----------------|--|------|-----------------|
| アイヌ刺しゅう講習会（初級） | 7月15日、7月19日 7月29日、8月5日 | 宮田初枝 | 24人 (6人×4回) |
| アイヌ刺しゅう講習会（中級①） | 8月12日、8月19日 8月26日、10月7日 10月14日 | 宮田初枝 | 25人 (5人×5回) |
| アイヌ刺しゅう講習会（中級②） | 10月21日、10月28日 11月4日、11月11日 11月18日 | 宮田初枝 | 30人 (6人×5回) |
| アイヌ刺しゅう講習会（勉強会） | 7月12日、7月26日 8月2日、8月23日 10月4日、10月11日 10月18日、10月25日 11月1日、11月8日 11月15日、11月22日 | 宮田初枝 | 72人 (6人×12回) |
| 合計 | | | 151人 |

○自主事業等の実施

（自主企画事業）

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

（広報活動等）

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

（7）人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、2話の翻訳整理と原稿化。
表記法等：（筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳）2編。
- ・民俗技術の調査

資料編

アイヌ施策関連事業

令和3年度アイヌ施策関連事業
 <修学奨励、教育事業関係>

1 高等学校等進学奨励事業【道（振興局）～対象者】

| 区 分 | 高校・大学別 | 人 数 | 上 限 額 | |
|-------|----------|-----|-------|------------|
| 入学支度金 | 高 校 | 国公立 | 47 | 24,200円 |
| | (給付) | 私 立 | 18 | 54,760円 |
| | 大 学 (貸付) | | 10 | 38,500円 |
| 修学資金 | 高 校 | 国公立 | 166 | 月) 23,000円 |
| | (給付) | 私 立 | 51 | 月) 43,000円 |
| | 大 学 | 国公立 | 14 | 月) 51,000円 |
| | (貸付) | 私 立 | 54 | 月) 82,000円 |

2 専修学校等進学奨励費補助事業【道（振興局）～対象者】

| 区 分 | 人 数 | 上 限 額 |
|-------|-----|-------------|
| 入学支度金 | 15 | 24,200円 |
| 修学資金 | 45 | (月) 23,300円 |

3 高等学校通学費補助事業【道（振興局）～対象者】

補助対象高等学校の通学に要する経費
 49人に助成された。(限度額7,500円)

4 教育相談員の配置

北海道費で1名（竹内 渉）、札幌市単費で1名（光野智子）
 帯広市単費で1名（吉根加奈）が配置され教育相談業務が行なわれた。

<地方改善事業関係>

(1) 施設整備事業の実績

(単位：円)

| No. | 市町村 | 地 区 | 種 別 | 規模等 | 事業費 A | 補助金額 B | うち国庫 負担相当額 (B×2/3) C | うち道費 負担相当額 (B-C) D |
|-----|----------|-----|-----|-----|-------|--------|----------------------------|--------------------------|
| 1 | 実績 なし | | | | | | | |

(2) 生活館運営費・生活館活動推進事業の実績

(生活館運営費補助金一覧) No.1

(単位:円)

| 市町村 | 館数 | 区分 | 総事業費 | 補助金額 | うち国庫負担相当額 | うち道費負担相当額 |
|------|----|-----|------------|------------|-----------|-----------|
| | | | A | B | (B×2/3) C | (B-C) D |
| 千歳市 | 1 | 運営費 | 4,708,509 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| | | 活動 | 313,551 | 132,000 | 88,000 | 44,000 |
| | | 小計 | 5,022,060 | 2,505,000 | 1,670,000 | 835,000 |
| 八雲町 | 1 | 運営費 | 2,812,607 | 1,638,000 | 1,092,000 | 546,000 |
| | | 小計 | 2,812,607 | 1,638,000 | 1,092,000 | 546,000 |
| 室蘭市 | 1 | 運営費 | 3,718,970 | 2,327,000 | 1,551,000 | 776,000 |
| | | 小計 | 3,718,970 | 2,327,000 | 1,551,000 | 776,000 |
| 苫小牧市 | 1 | 運営費 | 7,106,518 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| | | 小計 | 7,106,518 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| 伊達市 | 1 | 運営費 | 3,447,595 | 2,286,000 | 1,524,000 | 762,000 |
| | | 活動 | 38,850 | 29,000 | 19,000 | 10,000 |
| | | 小計 | 3,286,445 | 2,315,000 | 1,543,000 | 772,000 |
| 豊浦町 | 1 | 運営費 | 2,105,972 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| | | 小計 | 2,105,972 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| 白老町 | 8 | 運営費 | 13,062,575 | 7,140,000 | 4,760,000 | 2,380,000 |
| | | 小計 | 13,062,575 | 7,140,000 | 4,760,000 | 2,380,000 |
| 洞爺湖町 | 1 | 運営費 | 1,413,290 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| | | 小計 | 1,413,290 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| むかわ町 | 11 | 運営費 | 14,944,345 | 9,864,000 | 6,576,000 | 3,288,000 |
| | | 活動 | 165,918 | 124,000 | 82,000 | 42,000 |
| | | 小計 | 15,110,263 | 9,988,000 | 6,658,000 | 3,330,000 |
| 日高町 | 19 | 運営費 | 17,991,732 | 12,939,000 | 8,626,000 | 4,313,000 |
| | | 小計 | 17,991,732 | 12,939,000 | 8,626,000 | 4,313,000 |
| 平取町 | 12 | 運営費 | 20,396,315 | 9,864,000 | 6,576,000 | 3,288,000 |
| | | 小計 | 20,396,315 | 9,864,000 | 6,576,000 | 3,288,000 |
| 新冠町 | 9 | 運営費 | 7,460,300 | 4,596,000 | 3,064,000 | 1,532,000 |
| | | 小計 | 7,460,300 | 4,596,000 | 3,064,000 | 1,532,000 |
| 浦河町 | 13 | 運営費 | 11,022,816 | 8,133,000 | 5,422,000 | 2,711,000 |
| | | 活動 | 272,891 | 132,000 | 88,000 | 44,000 |
| | | 小計 | 11,295,707 | 8,265,000 | 5,510,000 | 2,755,000 |
| 様似町 | 9 | 運営費 | 13,775,026 | 7,573,000 | 5,048,000 | 2,525,000 |
| | | 小計 | 13,775,026 | 7,573,000 | 5,048,000 | 2,525,000 |

次頁に続く

(生活館運営費補助金一覧) No.2

(単位:円)

| 市町村 | 館数 | 区分 | 総事業費 | 補助金額 | うち国庫負担相当額 | うち道費負担相当額 |
|-------|-----|-----|-------------|-------------|------------|------------|
| | | | A | B | (B×2/3) C | (B-C) D |
| えりも町 | 6 | 運営費 | 7,017,565 | 3,533,000 | 2,355,000 | 1,178,000 |
| | | 小計 | 7,017,565 | 3,533,000 | 2,355,000 | 1,178,000 |
| 新ひだか町 | 27 | 運営費 | 15,116,349 | 10,967,000 | 7,311,000 | 3,656,000 |
| | | 小計 | 15,116,349 | 10,967,000 | 7,311,000 | 3,656,000 |
| 帯広市 | 1 | 運営費 | 10,724,238 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| | | 小計 | 10,724,238 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| 幕別町 | 1 | 運営費 | 2,660,419 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| | | 小計 | 2,660,419 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| 本別町 | 2 | 運営費 | 1,720,926 | 1,190,000 | 793,000 | 397,000 |
| | | 小計 | 1,720,926 | 1,190,000 | 793,000 | 397,000 |
| 浦幌町 | 1 | 運営費 | 1,890,950 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| | | 小計 | 1,890,950 | 681,000 | 454,000 | 227,000 |
| 釧路市 | 6 | 運営費 | 10,052,487 | 5,778,000 | 3,852,000 | 1,926,000 |
| | | 小計 | 10,052,487 | 5,778,000 | 3,852,000 | 1,926,000 |
| 厚岸町 | 1 | 運営費 | 217,823 | 107,000 | 71,000 | 36,000 |
| | | 小計 | 217,823 | 107,000 | 71,000 | 36,000 |
| 弟子屈町 | 1 | 運営費 | 275,631 | 198,000 | 132,000 | 66,000 |
| | | 小計 | 275,631 | 198,000 | 132,000 | 66,000 |
| 白糠町 | 1 | 運営費 | 6,164,440 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| | | 小計 | 6,164,440 | 2,373,000 | 1,582,000 | 791,000 |
| 標津町 | 4 | 運営費 | 4,442,469 | 2,532,000 | 1,688,000 | 844,000 |
| | | 小計 | 4,442,469 | 2,532,000 | 1,688,000 | 844,000 |
| 合計 | 139 | 運営費 | 184,249,867 | 102,881,000 | 68,585,000 | 34,296,000 |
| | | 活動 | 791,210 | 417,000 | 277,000 | 140,000 |
| | | 合計 | 185,041,077 | 103,298,000 | 68,862,000 | 34,436,000 |

※ 補助割合は、国2/4、都道府県1/4（間接分3/4）、市町村1/4です。

※ 上記額は実績（見込み）額

| 市町村 | 館数 | 区分 | 総事業費 | 補助基本額 | 国庫負担相当額 | 市費負担相当額 |
|-----|----|-----|------------|-----------|-----------|------------|
| | | | A | B | (B×1/2) C | (A-C) D |
| 札幌市 | 1 | 運営費 | 4,363,883 | 3,165,000 | 1,582,000 | 2,781,883 |
| | | 活動 | 6,129,438 | 2,000,000 | 1,000,000 | 5,129,438 |
| | | 小計 | 10,493,321 | 5,165,000 | 2,582,000 | 7,911,321 |
| 旭川市 | 2 | 運営費 | 16,603,107 | 4,073,000 | 2,036,000 | 12,553,814 |

※ 札幌市、旭川市の実績は見込み額

※ 札幌市（指定都市）及び旭川市（中核都市）の補助割合は、1/2です。

※ 注：運営費＝生活館運営費　：　活動＝生活館活動推進事業費

(3) 生活相談員

生活相談員が30名配置され、生活相談業務が行なわれた。

| 市町村名 | 氏名 | 市町村名 | 氏名 |
|---------------|-------------------|------|-----------|
| 札幌市 | 石井彩花 佐々木洋子 | 浦河町 | 堀悦子 八重樫志仁 |
| 千歳市 | 上野和広 | 様似町 | 古館牧子 |
| 室蘭市 | 相模香奈恵 | えりも町 | 運上英昭 野澤省史 |
| 苫小牧市 | 阿部琴恵 | 旭川市 | 工藤 稔 野本和彦 |
| 登別市 | 小坂博宣 | 帯広市 | 野尻真理子 |
| 伊達市 | 戸ノ崎郁美 | 芽室町 | 太田千代 |
| 白老町 | 小川康信 高野美和子 | 浦幌町 | 丹野るみか |
| むかわ町 | 原 明弘 板川靖子 | 釧路市 | 松本里美 |
| 平取町 | 島野健二 泉 聖也 日川敏恵 | 白糠町 | 渋谷祐依知 |
| 新冠町 | 板屋越和弘 | 標津町 | 小林一志 |
| 新ひだか町 静内庁舎 | 今村夢萌 | 八雲町 | 須藤英敏 |

<農林漁業対策事業関係>

1 令和3年度アイヌ地区農林漁業対策事業実績

(単位：円)

| 市町村名 | 地区名 | 事業種目 | 事業主体 | 事業内容 | 事業費 |
|-------|------|------------------------------|-----------|--|-------------|
| 新ひだか町 | 延出 | 草地開発整備事業 ----- (推進事業) | 幌毛機械利用組合 | 草地整備改良 客土 5.10ha 隔障物 ネット柵 1,798.6m | 19,844,000 |
| | | 静内 | | | |
| 八雲町 | 内浦第2 | 漁業経営近代化施設 ----- (推進事業) | 八雲町漁業協同組合 | ホタテ貝自動耳吊り機 17台 | 81,345,000 |
| 長万部町 | 大中 | 漁業経営近代化施設 ----- (推進事業) | 長万部漁業協同組合 | 漁船修理施設 1棟 | 75,295,000 |
| | | 漁業経営近代化施設 ----- (推進事業) | 長万部漁業協同組合 | ホタテ貝自動耳吊り機 17台 | 81,345,000 |
| 3町4地区 | | | | | 261,789,000 |

<労働対策関係>

1 職業相談員活動実績

令和3年度15名が配置され、それぞれの地区において相談活動が行なわれた。

札幌職業安定所 江添雅子
 札幌東職業安定所 横田房江
 札幌北職業安定所 月山佳代
 千歳職業安定所 川浪和美
 函館職業安定所 福嶋たつ子（八雲出張所）
 旭川職業安定所 湊谷幸恵
 室蘭職業安定所 上西静枝、小名幸子（伊達分室）
 釧路職業安定所 伊賀秀子
 帯広職業安定所 木村寿美子
 苫小牧職業安定所 宮尾直子
 浦河職業安定所 柴野仁子、大空ゆかり、上村一枝（静内分室）、工藤明美（静内分室）

2 就職資金貸付実績

北海道労働局主管で扱った常用労働者に対する就職資金の令和3年度の利用実績は次のとおり。

| 区分 | 単 身 | | 扶養家族（有） | | 計 | |
|----|-----|---------|---------|--------|----|---------|
| | 人数 | 金 額(円) | 人数 | 金 額(円) | 人数 | 金 額(円) |
| 函館 | 1 | 150,000 | | | 1 | 150,000 |
| 室蘭 | 1 | 150,000 | | | 1 | 150,000 |
| 計 | 2 | 300,000 | 0 | 0 | 2 | 300,000 |

3 公共職業訓練手当支給実績

次の関係高等技術専門学院等でアイヌ子弟に訓練手当が支給された。

(1) 訓練手当

<施設内>

| 学 院 名 | 人数 | 内 訳 |
|-------|----|-----|
| 実績なし | | |
| 合 計 | | |

<施設外>

| 学 院 名 | 人数 | 内 訳 |
|-------------|----|--------|
| 札幌高等技術専門学院 | 8 | パソコン基礎 |
| 苫小牧高等技術専門学院 | 2 | オフィス基礎 |
| 合 計 | 10 | |

(2) 受講支度金

<施設外>

| 学 院 名 | 人数 | 内 訳 |
|-------|----|-----|
| 実績なし | | |
| 合 計 | | |

4 機動職業訓練一覽

○就職支援委託訓練（アイヌの方を優先した訓練）

| 学院名 | 訓練科目 | 実施地 | 職安 | 実施期間 | | 訓練状況 | | | 備考 |
|-----|-------|-----|----|------------|-----|------|----|----|----|
| | | | | 期間 | 月 | 定員 | 入校 | 修了 | |
| 釧路 | IT基礎科 | 釧路市 | 釧路 | R3.12-R4.2 | 2.5 | 15 | 8 | 6 | |

○離職者等再就職訓練（アイヌ・一般の離職者を対象とした短期間の訓練）

| 学院名 | 訓練分野 | 実施地 | 実施期間 | | 訓練状況 | | | 備考 |
|-----------|---|-------|-----------|-----|-------|-------|-------|----|
| | | | 期間 | 月 | 定員 | 入校 | 修了 | |
| 全高等技術専門学院 | 介護事務科 医療事務科 パソコン実践科 パソコン基礎科 介護パソコン科 経理税務科、他 全189コース | 全道各地域 | R3.3-R4.3 | 3~6 | 3,623 | 2,603 | 2,280 | |

<住宅対策関係>

1 住宅改良資金貸付事業

令和3年度住宅改良資金貸付事業の実績

（単位：円）

| 市町村名 | 住宅新築資金 | | 住宅改修資金 | | 宅地取得資金 | | 合計 | |
|------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|----|-----|
| | 件数 | 貸付額 | 件数 | 貸付額 | 件数 | 貸付額 | 件数 | 貸付額 |
| 実績なし | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | |

2 年度別建設実績

| 資金別 年度 | 新 築 件 | 改 修 件 | 宅 地 取 得 件 | 合 計 件 |
|-----------|----------|----------|--------------|----------|
| 昭和48年度 | 2 | 12 | — | 14 |
| 49 | 9 | 25 | 0 | 34 |
| 50 | 40 | 25 | 0 | 65 |
| 51 | 81 | 27 | 1 | 109 |
| 52 | 112 | 41 | 15 | 168 |
| 53 | 130 | 48 | 18 | 196 |
| 54 | 136 | 47 | 33 | 216 |
| 55 | 129 | 39 | 37 | 205 |
| 56 | 112 | 46 | 28 | 186 |
| 57 | 109 | 39 | 44 | 192 |
| 58 | 94 | 34 | 32 | 160 |
| 59 | 80 | 38 | 28 | 146 |
| 60 | 67 | 36 | 21 | 124 |
| 61 | 70 | 34 | 23 | 127 |
| 62 | 67 | 46 | 26 | 139 |
| 63 | 62 | 35 | 16 | 113 |
| 平成元年度 | 58 | 30 | 27 | 115 |
| 2 | 62 | 30 | 21 | 113 |
| 3 | 52 | 32 | 18 | 102 |
| 4 | 43 | 32 | 24 | 99 |
| 5 | 45 | 25 | 18 | 88 |
| 6 | 20 | 22 | 22 | 64 |
| 7 | 30 | 24 | 15 | 69 |
| 8 | 34 | 25 | 8 | 67 |
| 9 | 15 | 18 | 12 | 45 |
| 10 | 22 | 16 | 13 | 51 |
| 11 | 22 | 20 | 11 | 53 |
| 12 | 17 | 9 | 10 | 36 |
| 13 | 13 | 17 | 3 | 33 |
| 14 | 10 | 14 | 8 | 32 |
| 15 | 5 | 10 | 6 | 21 |
| 16 | 5 | 10 | 3 | 18 |
| 17 | 2 | 5 | 1 | 8 |
| 18 | 8 | 7 | 2 | 17 |
| 19 | 3 | 7 | 2 | 12 |
| 20 | 5 | 6 | 3 | 14 |
| 21 | 6 | 6 | 5 | 17 |
| 22 | 4 | 2 | 3 | 9 |
| 23 | 3 | 1 | 1 | 5 |
| 24 | 0 | 3 | 0 | 3 |
| 25 | 0 | 3 | 1 | 4 |
| 26 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| 27 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 28 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 29 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 30 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 1,785 | 952 | 559 | 3,296 |